

## 「現場ニーズと技術シーズのマッチング」

## 現場試行結果技術一覧表

現場試行結果等の掲載: <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000109.html>

関東地方整備局

現場ニーズ	ニーズ提供者	技術シーズ	技術シーズ応募者	現場試行結果	備考
急勾配でも除草できる無人化・遠隔化技術	河川管理課	UNIMOWERS(傾斜地でパワフルに使えるオール電動草刈り機)	株式会社ユニック	【普及促進技術】※1 従来技術に比べて活用の効果は極めて優れている。 また、幅広い特有性を有しており、将来性がある。	今回発表 ※3
路側街渠エプロン部に堆積した土砂等を簡易に除却する方法	大宮国道事務所	土砂掻き起こし機械(シェイブ)	日本ロード・メンテナンス株式会社	【普及促進技術】※1 従来技術に比べて活用の効果は優れている。 また、幅広い特有性を有しており、将来性が期待できる。	今回発表 ※3
LP(レーザプロファイラ)調査によるフィリタリング作業による効率化	関東技術事務所	深層学習と赤色立体地図を用いた航空レーザデータのフィルタリング技術	アジア航測株式会社	【普及促進技術】※1 従来技術に比べて活用の効果は優れている。 また、幅広い特有性を有しており、将来性がある。	今回発表 ※3
急勾配でも除草できる無人化・遠隔化技術	河川管理課	KaruCraw(カルクロウ) 河川堤防除草向けカスタマイズ人とロボットの共生 協創作業	インダストリーネットワーク株式会社	従来技術に比べて活用の効果は同程度。 特有性を有している。	今回発表
急勾配でも除草できる無人化・遠隔化技術	河川管理課	中山間地域の急斜面での除草に向けた遠隔操作型草刈り機の提案	株式会社石井製作所	従来技術に比べて活用の効果は同程度。 特有性を有している。	今回発表
地質状況をボーリング調査と同等の精度で面的に把握したい	山梨県	省力型3次元電気探査	株式会社ダイエーコンサルタンツ	【標準化推進技術】※1 従来技術に比べて活用の効果は極めて優れている。 幅広い特有性を有しており、将来性がある。	第4回発表 (2022/8/1) ※2
トンネル点検の省力化・自動化技術	千葉国道事務所	変状自動検出機能を搭載したトンネル点検技術 -トンネル全断面点検システム(iTOREL)を使用した道路トンネル点検-	東急建設株式会社	【標準化推進技術】※1 従来技術に比べて活用の効果は優れている。 幅広い特有性を有しており、将来性がある。	第4回発表 (2022/8/1) ※2
機械設備点検作業の安全と効率を向上できる技術	関東技術事務所	AR(拡張現実)を使用した点検作業ナビゲーション技術	株式会社日立インダストリアルプロダクツ	【普及促進技術】※1 従来技術に比べて活用の効果は優れている。 幅広い特有性を有しており、将来性が期待できる。	第4回発表 (2022/8/1) ※2
ダム湖内における水面下堆砂状況等把握技術(UAV+レーザー計測+マルチビーム音響測深)	鬼怒川ダム統合管理事務所	魚群探知機を用いたダム貯水池3Dマッピング	中央開発株式会社	【普及促進技術】※1 従来技術に比べて活用の効果は優れている。 幅広い特有性を有しており、将来性が期待できる。	第4回発表 (2022/8/1) ※2

## 「現場ニーズと技術シーズのマッチング」

## 現場試行結果技術一覧表

現場試行結果等の掲載: <https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000109.html>

関東地方整備局

現場ニーズ	ニーズ提供者	技術シーズ	技術シーズ応募者	現場試行結果	備考
災害発生直後の車両通行可否判断システム	大宮国道事務所	ドローン画像解析による車両通行可否判断システム	アヴァント株式会社	活用の効果は、従来技術と同等である。幅広い特有性を有している。	第4回発表 (2022/8/1)
ハイパワーな飛び石防止構造肩掛け式除草機械の開発	大宮国道事務所	草取名人(ハイパワーな飛び石防止構造肩掛け式除草機械の開発)	有限会社ユニオン	活用の効果は、従来技術と同等である。	第4回発表 (2022/8/1)
暴風雨・夜間時のダム放流警報伝達技術	利根川ダム統合管理事務所	作業者みまもりサービス	アイフォーコム・スマートエコロジー株式会社	活用の効果は、従来技術と同等である。	第4回発表 (2022/8/1)
コスト縮減、省力化及び安全確保を目指した導水路の点検技術	霞ヶ浦導水工事事務所	導水路トンネルの無人調査技術および管理サポートツール(水路内簡易撮影システム)	株式会社ウォールナット	従来技術に比べて活用の効果は優れている。開発段階の技術である。	第4回発表 (2022/8/1)
急流で土砂移動の大きい富士川において、高精度かつ継続的に洪水時の河床高の変動を計測する技術	甲府河川国道事務所	水位と堆砂量を計測するセンサー(量水板型水位・堆砂量計)	(株)拓和	従来技術に比べて活用の効果は優れている。また、幅広い特有性を有しており、将来性が期待できる。	第3回発表 (2021/8/2)
カメラ等の映像により、アオコの発生状況を把握したい	霞ヶ浦河川事務所	RGB情報を用いた画像解析ALge(アルジー)	八千代エンジニアリング(株)	従来技術に比べて活用の効果は優れている。また、幅広い特有性を有しており、将来性が期待できる。	第3回発表 (2021/8/2)
アオコ発生状況のモニタリングシステム(UAV+撮影画像+地図情報+概算面積算出自動システム)	荒川上流河川事務所	アオコ発生状況のモニタリングシステム	(株)パスコ	従来技術に比べて活用の効果は優れている。ただし、特有性、将来性に優位性が認められない	第3回発表 (2021/8/2)
特車の取り締まりが任意の場所で実施可能な簡易センサー	高崎河川国道事務所	光変位センシングによる走行車両の重量等の計測技術	太陽誘電(株)	従来技術に比べて活用の効果は優れている。ただし、特有性、将来性に優位性が認められない。	第3回発表 (2021/8/2)
TS及び巻き尺等の出来形確認ではなく、ARなどにより施工の出来形管理を簡便に行いたい	高崎河川国道事務所	3Dレーザースキャナー体型による出来形管理	三菱電機(株)	(結果非公表)	第3回発表 (2021/8/2)
LP(レーザプロファイラ)調査によるフィリタリング作業による効率化	関東技術事務所	LPフィルタリング支援システム	(株)パスコ	従来技術に比べて活用の効果は優れている。ただし、特有性、将来性に優位性が認められない	第3回発表 (2021/8/2)

## 「現場ニーズと技術シーズのマッチング」

## 現場試行結果技術一覧表

現場試行結果等の掲載：<https://www.ktr.mlit.go.jp/gijyutu/gijyutu00000109.html>

関東地方整備局

現場ニーズ	ニーズ提供者	技術シーズ	技術シーズ応募者	現場試行結果	備考
現場臨場確認結果をタブレットに記載したい	山梨県	建物構造物診断システム	(株)イクシス	従来技術に比べて活用の効果は優れている。ただし、特有性、将来性に優位性が認められない。	第3回発表 (2021/8/2)
不特定多数の来客がある広報施設における不審者検知・通報	荒川下流河川事務所	来訪者検知システム	三菱電機(株)	(結果非公表)	第3回発表 (2021/8/2)
交通量調査・旅行速度調査を人ではなく簡易な方法で調査し、調査員確保の軽減や調査費用低減を図りたい	高崎河川国道事務所	監視カメラとAI解析による車、バイク、自転車、歩行者の交通量調査システム	パナソニックシステムソリューションズジャパン(株)	・従来技術と同等以上 ・NETIS登録に十分な技術	第2回発表 (2020/3/26)
安価・簡便なMMSデータ取得装置をパトロール車へ搭載し、平常時の河川巡視や現場調査時に堤防天端の広域的かつ面的な変状の把握や堤体のモニタリングを行いたい	高崎河川国道事務所	パトロール車に搭載できるMMS取得装置及び管理システム	(株)パスコ 三菱電機(株) アイサンテクノロジー(株)	・従来技術と同等以上 ・NETIS登録に十分な技術	第2回発表 (2020/3/26)
ボーリング結果を弾性波等の技術を用いて、近傍の地層も正確に把握したい	長野国道事務所	地中レーダ探査装置を用いた浅層地下構造の把握できる技術	(株)パスコ	・従来技術と同等以上 ・NETIS登録に十分な技術	第2回発表 (2020/3/26)
地質調査や埋設物等の調査の簡素化(地表面での探査により土質や埋設物を確認)	渡良瀬川河川事務所				
点検時の計測データを、機械維持管理システムとして自動登録したい	関東技術事務所	点検サポートサービスInsBuddy(インスパディ)	三菱電機(株)	・従来技術と同等以上 ・NETIS登録に十分な技術	第1回発表 (2019/11/19)
夜間工事に伴う長く暗い仮設歩道にて、歩行者が安心して通行できるよう「人に優しい」装置がほしい	千葉国道事務所	LED描画ランプを使用した解りやすい歩行者誘導装置	(株)小糸製作所	・従来技術と同等以上 ・NETIS登録に十分な技術	第1回発表 (2019/11/19)

※1 標準化推奨技術・普及促進技術とは、活用の効果が優れており、広く普及促進を図る技術

※2 令和4年8月1日～令和6年7月31日に完成または対象技術を活用する工事において、工事成績評定の加点措置をする技術

※3 令和5年9月1日～令和7年8月31日に完成または対象技術を活用する工事において、工事成績評定の加点措置をする技術